

日刊 日四十二月一十
創刊 十一月二十三日
発行所 平野新聞社
編集者 平野新聞社
印刷者 平野新聞社
電話 二二二二
郵便番号 二二二二
新刊 日四十二月一十

平の二百貫筆頭に 合計七百貫を回収

反毛報國運動好績に終る

平市及び石城郡下の婦人會、女子青年團では日本羊毛普及會の反毛報國運動に協力し、過般來各家庭から毛糸、モスリン、セルロ等の回収を行つてゐたが纏つたので二十三日同普及會出張員に現品を引渡し、平野部で宛めた分は平市の二百二十貫三百を筆頭に合計七百二十貫六百七十丸に達した、これを一貫三圓四角均に換算して二千二百圓の羊毛廢品が回収されたわけである平野部の蒐集内訳左の通り

- 平二〇二貫三〇〇 内郷一
- 〇六貫一七 夏井一九貫
- 好間五七貫四〇〇 赤井二
- 八貫三〇〇 高久二七貫七
- 〇〇 阿倉二三貫七〇〇
- 飯野八貫三〇〇 大浦二〇
- 貫六〇〇 草野二二貫三〇
- 〇 大野一貫一〇〇 三
- 坂一五貫七〇〇 箕輪八貫
- 三〇〇 永戸五貫三〇〇
- 神谷五貫三〇〇 湯本一〇

無言の凱旋

平市の出身勇士

設立花部隊一等兵、平市紺屋町出身久野泰美君、同伍長藤川寛也君の英魂は二十一日上海出帆郷里へ無言の凱旋する

義人澤村公墓前に 盛大な謝恩祭執行

豊作に喜ぶ小川江瀧漁民

平、神谷、草野、大浦、大野、小川、赤井、四倉の一市一町六ヶ村を灌溉する小川江瀧の開墾者澤村勝爲君は今年丁度二十六年に當るが同江瀧組合が數年の歳月と巨費を投じて水路改修工事も漸く完成し今年は早天續きであつたにも拘らず水不足に悩まされることがなく非常な豊作で昨年にくらべ五千石増收の三萬五千石

平市の就學兒童 明年は七百二名

炭鑛の活況で六十餘名減

平市内各小學校の明年度就學兒童は學務課で調査中であつたが此程完了した、男兒三三四十一名、女兒三百六十一名、合計七百二名で本年度にくら

支那單語

造兵廠は兵工廠でビンクンチアン、兵營のことは營房でインファン射撃場は打撃場でターバーチアン、火藥庫はホオヤオクウ、鐵砲は鋼砲でカントウと呼ぶ

七六、寄留一三三、
▲第二校 二百三十名(本籍七六、寄留一五四)

戰地の便り

現在武昌と云ふに 軍務に精勵致居候

遠藤 精藏

拜啓、屢々御書面を下さされ有難く御禮申上げます、相變らず御元氣にて御活動の由何より御座候、御多忙にも拘らず玉川村に御出張下され御講演並びに座談會その他増産の計畫等を御指導下され感佩ながら感謝致して居ります、小生は現在武昌と云ふところに軍務に精勵致し居りますから他事ながら御休心下さい、當地も最近急に寒氣加はり日中にも寒さが身にしみる程になりました、内地はい

石城郡玉川村出身
遠藤 精藏

岡部中尉合同葬

名譽の戦死を遂げた渡邊村大字泉田字藤前出身岡部三郎中尉の合同葬は来る三十日特務中尉の英魂は来る三十日

思ひ 出るまゝに

大森 勇

江陰砲台の岡の上に翻つてる日章旗を見ると嬉しくなる、觀戰文士の一行が多分南京であつたらうと記憶して居るが、ラデオで放送したことがある揚子江の一寸でも一寸でも涙と感謝なしに上られぬ、そこは皇軍勇士の尊貴と肉に依つて占領した處であるからだ。あの日章旗が翻る迄に拂はれた皇軍勇士の歎け切れぬ

寒さ日毎に厳しく候

石城郡高久村出身 蘭部 文彌

拜啓長らく御無音に打過ぎ誠に申謝ありません、御許に下され、其の後様には御變りありませんか定めし御元氣にて銃後の爲め御盡力の事と推察致します、故郷は秋の取入にて御忙はし

泉驛増築着工

泉驛は小名濱、江名地方の鮮魚乾魚その他の取扱數量は逐年増加し更に近く小名濱日費會社が操業を開始すると業務著しく幅狭する見込みなので工費八千圓で貨物取扱所、貨物本屋、驛長室等を増築することになり二十三日着工した

自治講座出席者

今二十四日から來月八日まで横濱市で開催の市町村振興訓練講座に地方から縣水産試験場副場長國井彦一、鹿島小學校訓導長藤武の兩氏が出席

養豚で献金

轉向の市村政委員かつて常務炭鑛赤化運動のオクルグとして活躍した市村政委員はその後全く轉向して目下好間村の日曹小田炭鑛所に働らき豚飼育會を設立して養豚報國に邁進し既に數回に亘つて豚の賣却代を國防献金としてあるが最近更に七頭の親豚と子豚を賣つて百三十餘圓を國防献金に寄託し役場吏員を感謝した

爆薬で失明

湯本町入山炭鑛採炭夫吉田庄太郎(〇)は廿二日午前八時頃第六坑内で休憩中傍らにいた鶴崎が不發ダイナマイトに引火されて爆発しその破片で右眼に刺さるや見失つた、揚子江の幾百里の上流にこんな港があるとは嘘の様な気がする、停車場船が居るから來て見ると勝はれて甲板に上つた、成程見事な事のない恰好の船だ

鹿島村の火事

鹿島村上矢田農長瀬留治さん方居から廿三日午前四時頃發火住家三棟、非住家六棟を全焼して六時頃火は消滅した

甲陽館小火

新道通り旅籠甲陽館武田こうさん方の物置から二十三日午後四時半頃發火同物置と二階座敷二間を焼いたのみで大事に至らず消し止め損害一千余圓

志願兵検査日割

平市及び石城郡下の十五年度海軍志願兵検査は一月十一日から十三日まで平市で執行と決定發表された

鹿島村の火事

鹿島村上矢田農長瀬留治さん方居から廿三日午前四時頃發火住家三棟、非住家六棟を全焼して六時頃火は消滅した

家出

農務本平吉さんは、男三郎(三)を同郡龍岡村字井出日雇業松本松吉さんへ養子にやつたが當時松吉さんが妻に相談しなかつた爲最近入籍問題で紛系したのに氣を腐らし松吉さんは三郎君を連れて家出したが平市附近の炭鑛で働いてゐるらしいと廿三日三郎君の母鈴木うんさんから平野へ捜索方願出た

銃後會へ寄附

平市村木町新妻直正君は應召したが疾病で遅されたので儀別金の中から金五圓を市の銃後會に寄附す

平野新聞社
電話 二二二二
郵便番号 二二二二

産業方面

三方策で漁業の難局を打開

(上) これならばと農林省水産試験場長談
水産國を誇る我が漁業も沿岸漁業に於て従來濫獲を警戒されてゐたのに反し今次の事變勃發により情勢は一變して燃油、造船資料、人的資源の不足を來し、水揚量は激減、各漁村經營は魚類單價の急激な値上りを見たとは云へ到底水揚量の不足を満たすに至らず漸く行詰り、長期戦下の漁業經營新方策の確立要求の聲は漁民自身の口から痛烈な叫びとなつて來た、沿岸漁業から遠洋漁業へ平面的に延び切つたのが漁業は大型漁船建造資材の不足、燃油不足といふ難關打開を何れに求むべきか農林省水産試験場でも専らこの難局打開策の研究にあたり

(1) 淺海の魚田化、
(2) 深洋漁業への轉換、
(3) 魚の高度利用化、
の實現により我が漁業は前途なほ洋々たる光明に包まれてゐるものとして先頃來本省に對し具體的漁民指導方針樹立への大きな期待が持たれ、また漁業指導に行詰つた各水産府縣の指導機關に於ける水産資源の恒久的開發策として水産ニッポンの新しい姿として急遽なる調査方を要求してゐるがこれが實現は戦時下のみでなく平時への新たな指針であらう、次に農林省水産試験場長春日信市氏にその研究と抱負を聞いて見ると

▲淺海の魚田化、さしあたり重要なものは人間が簡單な潜水具で潜れる十五等程

度までの淺海の利用だ、こゝはまだ一分位しか利用されてゐる九分と云ふ未開發面があることを田畑と同様に貝類草類の繁殖をうながす魚田化が必要だ、たゞ何をどうするかは研究問題で長期戦下最も緊急の研究課題と云はねばならぬ、

一般印刷物も御引受致します
新しいわき新聞社印刷部

肉の御用命は

三三三屋

牛も豚も優良品の自慢

お醤油は

ヤマフル

醤油、味噌
たひら正宗
鯉節食料品

明治生命磐城代理店

山崎與三郎

舎 山崎合名會社
電話 本業 川部 二七〇番
山崎與三郎

内科、小兒科
大森醫院
醫學士 大森 勇
平市南町 電二五八番
入院 應需

電話五九二番
に變りました

レストラン サロシ
平市銀座街

タバコをヤメるのに 不思議の妙薬
▽確實に禁煙に成功の出来る
禁煙 ニコチロン 一瓶を
含嗽劑
▽是非御使用を御勧め致します
専賣店 漢方胃腸薬の 山野邊藥局

診療科目
一、齒科 一般
保存科、補綴科、組織架工科、齒列矯正科、小兒科、齒槽膿腫科、
一、口腔外科
一、レントゲン科
平市田町(松月堂向と)

中野齒科醫院
電話五〇九番
院長 日本齒科醫學士 中野 嘉次
日大醫學士 藤谷 伍郎
主任 佐藤 重義

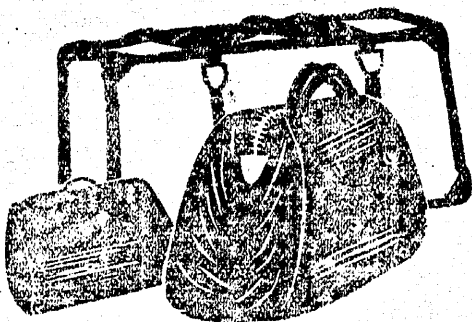
優良之條々 質士之高々
和洋金網 口洋金網
茶屋高商店
電話 五九二番

便利で 日下家政婦會の
經濟な 派出婦を御利用下さい
身元確かで品行方正ですから
何を任せしてもご安心です
平市白銀町十番地 (電話七二三番)
日下家政婦會
會長 日下 すい子
會員同志の御加入(派出なき期間に兼務)を御誘ひ致します(編物をお教授致します)

内科、小兒科
外科、花柳病科
耳鼻咽喉科
レントゲン科
平市田町 電話五二三番
高久病院
院長 醫學士 高久 忠

安田系統の帝國海上
帝國保險株式會社
海上 火災
平代理店 關内正一郎
事務取扱者 阿部 助次郎
平市二丁目 電話一六番

類品洋とンバカ



(話電) 屋砂真 (前驛.市平) (り通道新)

秋より冬にかけて 婦人洋品
シヨールと防寒具
可愛い子供さんのお洋服
お帽子とお洋服
豊富陳列して御座います
平 4 ツルヤ
電140